



2023年5月12日

各 位

会社名 株式会社今仙電機製作所  
 代表者 代表取締役 櫻井 孝充  
 社長執行役員  
 (コード番号: 7266 東証プライム・名証プレミア)  
 問合せ先 グローバル経営事業本部 井上 達嗣  
 執行役員  
 TEL 0568-67-1211

### プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況(変更) 及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月7日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を公表し、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取り組みを進めてまいりました。今般、2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況に加え、今後の適合に向けた計画について改めて検討した結果、本日開催の取締役会において、現在の「プライム市場」から「スタンダード市場」へ市場区分を変更する選択申請をすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. プライム市場の上場維持基準への適合状況について

当社の2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっております。新市場区分移行基準日時点である2021年6月30日時点から引き続き流通株式時価総額のみ基準を充たしておりません。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金	純資産 の額
当社の 状況	2021年6月30日 時点(注1)	5,432人	111,299単位	80.9億円	47.4%	0.38億円	510億円
	2023年3月31日 時点(注2)	5,900人	110,465単位	80.3億円	47.1%	0.28億円	488億円
プライム市場の 上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35%	0.2億円	正
適合状況		○	○	×	○	○	○
計画期間		—	—	2026年 3月期末まで	—	—	—

(注1) 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出

(注2) 基準日時点における株券等の分布状況等をもとに当社にて算出

## 2. プライム市場の上場維持基準適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

当社は、流通株式時価総額にかかる上場維持基準を充たすため、以下の取り組みを行ってまいりました。

### ① 企業価値の向上

シート・電装事業では、収益体質の強化を目指し、顧客ニーズを重視した開発の推進により新製品の採用や新規顧客の獲得に向けた受注活動を展開するとともに、生産の自動化を進め、コスト低減と品質向上に取り組むことにより、損益分岐点の引き下げにつなげております。

電子事業では、自動車の電動化の流れに合わせ、マツダ株式会社との開発合弁会社を設立するなど、電気駆動システム領域の開発、製品化に取り組んでおり、将来の飛躍的な事業成長への礎を築くことができました。

新規事業の創出に向けては、歩行測定システムの実用化を目指して、データを収集すると共にその妥当性証明を進めており、ユーザーの意見や満足度の確認を進め、それらを反映することでシステム改善に取り組み、事業化に向けた基盤を構築しております。

### ② 市場認知度・評価の向上

IR 活動、広報活動の強化を図り、従来実施していた機関投資家向け年度 2 回の説明会に加え、個人投資家向け説明会やイベントへの参加、ホームページ上での社長ブログ掲載など、継続的な情報発信に取り組んでまいりました。また、2022 年 11 月より、1,150 千株、850 百万円を上限とした自己株式の取得を実施中であり、株主への利益還元水準の向上および資本効率の改善を図ることで、直接的な株価形成にも働きかけを行っております。

以上の取り組みを続けてきたものの、足元、半導体不足による急な生産変動や、資源価格上昇、中国ロックダウンの影響に加え、北米向け輸送コスト増加やタイにおける品質不具合への対応費用などの一過性のコストが発生した結果、当初計画を達成することができず、業績の回復が遅れ、2023 年 3 月 31 日時点における流通株式時価総額は、プライム市場上場維持基準に対し未達の結果となっております。

## 3. スタンダード市場上場の選択申請について

当社では、2021 年度に策定した「中長期経営計画 2029」で掲げる経営目標である「持続的成長に向けた事業の変革」を目指し、シート・電装事業の収益体質強化、電子事業及び新規事業の飛躍的成長によるバランスのとれた 3 本足の事業確立に向けて取り組んでおります。しかしながら、現在開発中の電気駆動システム領域の新製品の市場投入は 2025 年度以降となる見通しであることなど、3 本足の事業確立にはいましばらくの時間が必要となります。

こうしたことから、東京証券取引所が新たに公表した経過措置の適用期限である 2025 年 3 月末までにプライム市場の上場維持基準に適合、維持することは、不透明な状況となっております。

このような状況において、株主・投資家の皆様にとっては、上場維持への不安を抱くことなく、安心して当社株式を保有、売買できる環境を整えること、当社にとっては、限られた経営資源を不安定な収益状況からの脱却、確実に利益が出せる体質づくり、将来に向けた新しい事業領域の育成・拡大に集中させることが最善と考え、スタンダード市場を選択することを判断したものであります。

当社の 2023 年 3 月 31 日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっております、全ての上場維持基準に適合しております。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	月平均 売買代金	純資産 の額
当社の状況（注1）	5,900人	110,465単位	80.3億円	47.1%	13,950単位	488億円
スタンダード市場の 上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%	10単位	正
適合状況	○	○	○	○	○	○

（注1）基準日時点における株券等の分布状況等をもとに当社にて算出

なお、スタンダード市場への移行後も、引き続き電子事業の飛躍的成長を含めた「中長期経営計画2029」の実現に向けて着実に取り組むとともに、株主・投資家の皆様からの信頼をいただけるよう、積極的な情報発信、IR活動を継続し企業価値の向上に努め、将来的な「プライム市場」への変更上場を目指してまいります。

#### 4. スタンダード市場への移行予定日 2023年10月20日

以上